

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2026.07.No347

7月号

目次

(一社)北海道建築士会 第48回全道大会(さっぽろ大会)	1
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>

RE:BO:RN

(一社)北海道建築士会 第48回全道大会(さっぽろ大会)

テーマ:まち×建築×建築士 ～過去を学び・現在を見つめ・未来を描く～

支部長あいさつ

このたび、第48回全道大会さっぽろ大会を開催する運びとなり、札幌支部を代表しましてご挨拶申し上げます。札幌支部が主管する全道大会は実に30年ぶりとなります。札幌支部は、札幌市、江別市、当別町、新篠津村で活躍する建築士により構成され、スキルアップ、社会貢献活動、仲間づくり活動などを積極的に行っております。試行錯誤を重ねながら準備を進めてまいりましたが、今大会は従来の会員中心の大会から一歩踏み出し、会員以外の学生や一般市民の皆さまにも広くご参加いただける、開かれた大会を目指しております。都心の建物が更新期を迎え、大規模な再開発が進む「さっぽろ」は、まさに歴史と未来が交差する大転換期にあります。歴史的建築物の保存・再生、ユニバーサルデザインの推進、景観や環境への配慮など、多様な視点からまちは再構築されつつあります。

今大会は、セミナーやエクスカーショを通じて、さっぽろの「過去」を学び、「現在」を見つめ、まちや建築を肌で感じていただきます。さらに、基調講演・トークセッションでは対話と共創の「場」をつくり、建築士と市民・学生が世代や立場を超えてつながり、次代へと続く「まち」「建築」「建築士会」の未来を共に描いてまいります。

30年ぶりの札幌開催となる今大会に、会員の皆さまはもとより、多くの市民・学生のご参加を心よりお待ち申し上げます。



札幌支部長 針ヶ谷 拓己

大会概要

日時	概要	会場
10月2日(金) 14:30～17:00	青年サミット	赤れんが庁舎
10月2日(金) 18:00～20:00	青年サミット意見交換会	LA・CASABLANCA
10月3日(土) 10:00～17:00	本大会	札幌市教育文化会館
10月3日(土) 18:30～20:30	大交流会	札幌パークホテル
10月4日(日) 9:30～13:00	エクスカーショ	

第48回全道大会 さっぽろ大会

RE:BORN

まち×建築×建築士

大会スケジュール

10月2日(金) 青年サミット

プログラム	時間	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	会場
① 青年サミット	14:30 ~ 17:00														赤れんが庁舎
② 青年サミット意見交換会	18:00 ~ 20:00														LA・CASABLANCA

10月3日(土) 本大会・大交流会

プログラム	時間	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	会場
① 総合受付	10:00 ~ 16:00														1階 大ホールホワイエ
② 休憩・食事エリア(弁当配布)	11:00 ~ 14:00														4階 403研修室
③ 女性委員会ワークショップ	11:00 ~ 16:00														1階 大ホールホワイエ
④ 災害対応委員会ミニ机上訓練	11:00 ~ 16:00														1階 大ホールホワイエ
⑤ 企業出展ブース	11:00 ~ 16:00														1階 大ホールホワイエ
⑥ 展示ブース	11:00 ~ 16:00														1階 大ホールホワイエ
⑦ 青年委員会ワークショップ	10:30 ~ 12:30														3階 305研修室
⑧ BIM推進特別委員会セミナー①	10:30 ~ 11:50														3階 301研修室
⑨ BIM推進特別委員会セミナー②	12:30 ~ 13:50														3階 301研修室
⑩ 創エネ工作体験	10:30 ~ 11:50														3階 302研修室
⑪ ぶらり札幌温故知新	12:30 ~ 13:50														3階 302研修室
⑫ シニアの集い	12:00 ~ 12:30														4階 403研修室
⑬ 大会式典	14:15 ~ 15:30														1階 大ホール
⑭ 基調講演・トークセッション	15:50 ~ 17:20														1階 大ホール
⑮ 大交流会	18:30 ~ 20:30														札幌パークホテル

10月4日(日) エクスカーション

プログラム	時間	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	集合場所
① A 都心部 RE:BORN コース	10:00 ~ 13:00														赤れんがテラス地下1階
② B 設計事務所 RE:BORN コース	9:45 ~ 12:45														赤れんがテラス地下1階
③ C ヘリテージ RE:BORN コース	9:30 ~ 12:30														赤れんがテラス地下1階

会場案内



【本大会会場】札幌市教育文化会館

所在地:札幌市中央区北1条西13丁目

交通アクセス:地下鉄東西線「西11丁目」駅1番出口より徒歩約5分/市電「西15丁目」停より徒歩約10分/バス「北1条西12丁目」停より徒歩約1分
※専用駐車場はございませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください。



【大交流会会場】札幌パークホテル

所在地:札幌市中央区南10条西3丁目1番1号

交通アクセス:地下鉄南北線「中島公園」駅3番出口すぐ(1番出口より徒歩約1分)
※専用駐車場はございませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください。



©2026 Google

大会プログラム

基調講演・トークセッション

10/3(土) 15:50 - 17:20 / 札幌市教育文化会館 大ホール

基調講演

対象:大会参加登録者・一般(有料)・学生(無料) ※是非、お知り合いをお誘いください

講師:田根 剛(たね つよし)

テーマ:『Archaeology of the Future—未来の記憶』

建築家。1979年東京生まれ。ATTA - Atelier Tsuyoshi Tane Architects代表。フランス・パリを拠点に活動。北海道東海大学芸術工学部建築学科卒業。デンマーク王立芸術学院・客員研究員後、ヘニング・ラーセン、デビット・アジャイエ事務所勤務。2006年DGT、共同設立(パリ)を経て、2017年にATTA - Atelier Tsuyoshi Tane Architectsを設立(パリ)。主な作品に『エストニア国立博物館』、『弘前れんが倉庫美術館』、『アルサーニ・コレクション財団・美術館』、『帝国ホテル 東京・新本館』(2036年完成予定)など多数。主な受賞に、フランス芸術文化勲章シュヴァリエ、フランス国外建築賞グランプリ、フランス文化庁新進建築家賞、フランス建築アカデミー新人賞、第67回芸術選奨文部科学大臣新人賞、など受賞多数。著書に『TSUYOSHI TANE Archaeology of the Future』vol. I、II(TOTO出版)など。www.at-ta.fr



©Yoshiaki Tsutsui

トークセッション

まちづくり委員会

テーマ:RE:BORN～場所の記憶から未来を描く、次世代建築士の羅針盤～

建物の更新期を迎え、歴史と未来が交差する札幌。
まちと建築士が「RE:BORN」するための羅針盤とは何か。
田根剛氏の視点とTONKAN札幌の学生の切実な問いが交差します。
世代を超えたコミュニティで、新たな未来を描き出す対話の場です。

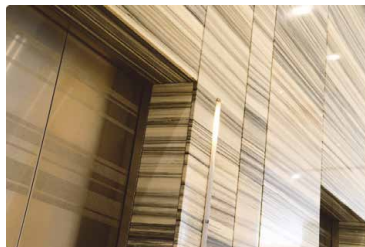
TONKAN札幌とは？

TONKAN札幌は、建築土木系学生が自ら設計・施工・運営を担う交流拠点として設立された道内7大学からなる学生主体の任意団体です。

大交流会

10/3(土) 18:30～20:30 / 札幌パークホテル

1964年、札幌パークホテルの前身「札幌ホテル三愛」がオープン。
冬季オリンピック招致のために国際ホテルが必要として原田札幌市長が、(株)リコーの創業社長で経営手腕の優れた実業家として知られていた市村清氏に働きかけて実現。以来、多くの国賓や国内外の賓客を迎えてきました。設計はル・コルビュジエに師事した建築家・坂倉準三氏によるものです。
中島公園の豊かな自然に隣接し、有田焼の青磁タイルに彩られた外装と、一見ランダムのようにも見える交互配置の窓。そして、チャンディーガル(インド)の議事堂などを想起させる、重厚な庇が特徴の近代建築です。
この歴史ある「札幌パークホテル」は2027年2月に閉館予定です。名建築の趣と伝統のおもてなしを味わえる機会も、残りわずかとなりました。
建築を愛する仲間が集う「さっぽろ大会」にふさわしい、特別な一夜となることでしょう。



お弁当

10/3(土) 11:00～14:00 / 教育文化会館 403研修室(食事エリア)

和・洋・中、3種のお弁当をご用意しました！

- 和 「築地魚弁」のお魚弁当
- 洋 「洋食コノシ」のハンバーグ弁当
- 中 「中国料理 布袋」のザンギ弁当

各1,500円(ドリンク付) <参加申込書よりお申込みください>



和



洋



中

※写真はイメージです

大会プログラム

01 | ナレッジコンテンツ KNOWLEDGE CONTENTS

青年委員会 ワークショップ 定員80名

10/3(土) 10:30 - 12:30/教育文化会館研修室305



テーマ:地域を越えて築く未来 ~多様な地域課題と可能性を共有し、次の一歩につなげるワークショップ~

本ワークショップでは、各地域で取り組む活動やこれから実現したいこと、建築士として地域にできる新たなアクションを持ち寄り、参加者同士で率直に語り合う機会とします。異なる地域や立場の視点に触れ、自身の活動を見つめ直しながら新たな発想や実践のヒントを得るとともに、志を共有し地域を越えて連携しながら次の一歩につなげる時間とします。

対象:大会参加登録者・学生(無料)

BIM推進特別委員会セミナー① 定員100名

10/3(土) 10:30 - 11:50/教育文化会館研修室301



建設業界では現在BIMに取り組む企業が増えてきており、確認申請のBIM図面審査も始まりました。生成AIが進展していく中、将来的にはより効率的な働き方を模索する動きが出てきています。道内の設計事務所では現在どこまでの技術が利用されているのか、また将来的な展望について語っていただき、建築士や今後建築士となる学生に

対象:大会参加登録者・一般(無料)・学生(無料)

BIM推進特別委員会セミナー② 定員100名

10/3(土) 12:30 - 13:50/教育文化会館研修室301



BIM教育・人材育成の観点から、学生・若手建築士へのBIM普及に向けた取り組みを紹介します。

対象:大会参加登録者・一般(無料)・学生(無料)

創エネ工作体験 ~太陽エネルギーを学ぼう!~ 定員40名(40キット) 10/3(土) 10:30 - 11:50/教育文化会館研修室302



簡単な工作キット製作を通して、太陽光発電を体験出来るセミナーです。
子どものみ参加の場合も建築士会会員がサポートします!

対象:大会参加登録者(有料)・一般(有料)



ぶらり札幌温故知新 ~ブラHABUKA 大通り西編~ 定員40名

10/3(土) 12:30 - 13:50/教育文化会館研修室302



大通り西エリアの歴史的建築物や街並みを歩きながら学ぶ、体験型セミナーです。

札幌市立大学名誉教授である羽深久夫氏が今と昔を解説しながら巡る
建物探訪ツアーです。

対象:大会参加登録者・一般(無料)・学生(無料)



02 | エキシビジョンブース EXHIBITION BOOTH

フリー入場

10/3(土) 11:00 - 16:00/札幌市教育文化会館 大ホールホワイエ

女性委員会

テーマ:
あなたが動けなければ、
街は生まれ変わらない



災害発生時、建築士は「建物の安全性を判断し、復旧を支える」重要な社会的使命を負います。しかし、支援者としての意識は高くても、自分自身の「被災直後の備え(0次防災)」が疎かになっているケースは少なくありません。「あなたが動けなければ、街は生まれ変わらない」本企画ではその言葉を出発点に、日常的に携帯できる機能的でスマートな防災ポーチを自ら作成するワークショップを提供します。先着150個限定。(事前申込不要・随時受付)

災害対応委員会

テーマ:
応急危険度判定
ミニ机上訓練



応急危険度判定の机上訓練を実施します。

企業出展ブース

建材・設備・設計支援
ツールなど、各社の最新
情報を展示。
担当者と直接対話できます。



展示ブース

本部委員会活動パネル、
ポスターコンペ作品、
円山動物園コンペ作品模型など
多彩な展示を予定しています。



TONKAN札幌

建築・土木業界を志す学生たちが
集い、情報交換や学びを深めるた
めのコミュニティスペース
「TONKAN札幌」が参加!

03 | シニアの集い SENIOR GATHERING

10/3(土) 12:00 - 12:30/教育文化会館 403研修室

シニア世代による交流プログラム お弁当をつまみながら、みんなで楽しくお話ししましょう!

30分だけのミニ集会なので、堅苦しい挨拶や議論は一切ナシ。日頃の息抜きに、ふらっとお立ち寄りください。
※お弁当の手配がありますので、参加される方は参加申込書より「シニアの集い」と「お弁当」のお申し込みをお願いします。

大会プログラム

04 | 青年サミット

YOUTH SUMMIT

10/2(金) 14:30 - 17:30/赤れんが庁舎

北海道開拓の象徴的存在であり、国指定重要文化財でもある北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)は、貴重な文化遺産であると同時に、時代の要請に応じた保存・活用が図られています。

青年サミットでは、赤れんが庁舎の改修工事を経て新たな価値が付加された建物の見学と講義を通じて、歴史的建造物の保存改修の考え方や技術、課題への対応について学びます。

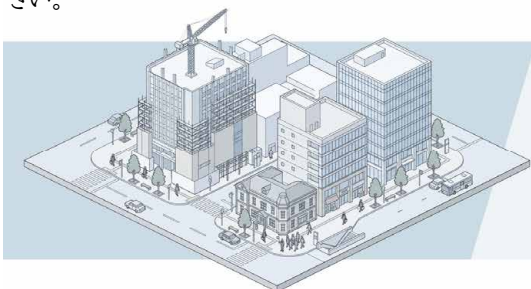
05 | エクスカーション

EXCURSION

10/4(日) 9:30 - 13:00

集合場所: 赤れんがテラス地下1階

全道大会開催地さっぽろの、都心再生を象徴する最新の建物や、街に残る歴史、文化財建造物の保存活用などを巡り学べる見学会です。さっぽろの魅力を体験し、建築士としての知見を深める機会として是非ご参加ください。



A 都心部 RE:BORN コース

DOWNTOWN RE:BORN COURSE 定員 30 名 集合時間 9:45

札幌駅前からすすきのまで、歴史を伝える隠れスポットや最近の再開発を、街歩き研究家の和田哲さんとともに見て歩きます。
予定訪問場所: 駅前通り、アカブラ、北海道庁旧本庁舎(外観)、北菓楼、札幌教会、狸小路、モユク札幌、ココノススキノ ほか
対象: 大会参加登録者・一般(有料)・学生(無料)

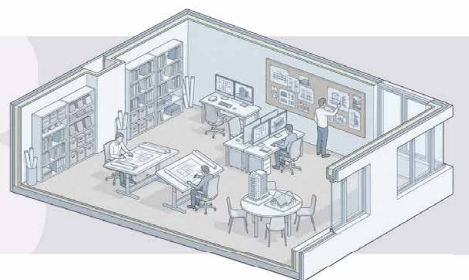
B 設計事務所 RE:BORN コース

DESIGN OFFICE RE:BORN COURSE 定員 25 名 集合時間 9:30

近年リニューアルした設計事務所やアトリエの外観・内部を見学するバスツアーです。

予定訪問場所: 日建設計、遠藤建築アトリエ、中山真琴アーキテクツ、ヒココニアーキテクチャ

対象: 大会参加登録者・建築系学生(無料) 限定



C ヘリテージ RE:BORN コース

HERITAGE RE:BORN COURSE 定員 30 名 集合時間 9:15

都心部から徒歩圏の保存修復された文化財を、専門家の説明で見て歩きます。

予定訪問場所: 北海道庁旧本庁舎(内部)、清華亭、北海道ワイン教育研究センター棟(旧昆虫学教室)、同ワインセラー棟(旧昆虫標本室)、北大農学部第2農場

対象: 大会参加登録者・ヘリマネ講座生(有料)・学生(無料) 限定

全道大会連動企画

10/4(日) 15:50 - 17:30

ARCHI WALK

建築魅力発信ツアープロジェクト ～建築でひもとく、札幌『すすきの』の成り立ちと魅力を探訪編～
「ARCHI WALK 実行委員会」は、建築士会会員有志が中心となり、建築を切り口とした「まち歩き」を通して建築やまちの魅力を発信する活動をしている集まりです。

全道大会の機会にあわせ、自主企画として「建築でひもとく、札幌『すすきの』の成り立ちと魅力を探訪」をテーマにしたまち歩きを開催します。

詳細・申込⇒ <https://drive.google.com/file/d/12fuNF1cIb8rSczK9A4MxLcXJHtjVFyB/view?usp=sharing>

主催: ARCHI WALK 実行委員会



詳細・申込み

第48回 (一社)北海道建築士会 全道大会(さっぽろ大会)参加申込書

		所属支部名	支部
ふりがな		ふりがな	
氏 名		同 伴 者	
住 所	〒 — TEL FAX		
勤務先	〒 — TEL FAX		
メールアドレス			

月 日	行 事 項 目		参加料・代金	参加行事等に○印記入		金 額	備 考	
				本 人	同伴者			
10月2日(金)	青年サミット		—			—		
	青年サミット意見交換会		7,000円/人					
10月3日(土)	大会参加費		5,000円/人	○	—	5,000		
	青年ワークショップ		—			—		
	BIMセミナー①		—			—		
	BIMセミナー②		—			—		
	創エネ工作体験		1,000円/キット				工作キット材料費	
	ぶらり札幌温故知新		—			—		
	大会式典		—			—		
	基調講演・トークセッション		—			—		
	大交流会		8,000円/人					
	昼食	和 築地魚弁	1,500円/人					
		洋 コノヨシ	1,500円/人					
		中 布袋	1,500円/人					
シニアの集い		—			—	昼食も併せて お申込みください		
10月4日(日)	エクスカー ション	A都心部	—			—		
		B設計事務所	—			—		
		Cヘリテージ	—			—		
					合計金額			

■ 各支部への申込締切りは8月17日(月)を厳守願います。

上記のとおり、関係費

円 を添えて申し込みます。

令和 8 年 月 日

【備考】

- 大会参加費は、青年サミットも含め大会参加者全員に納めていただきます。ただし、会員外の同伴者は免除いたします。
- 一般参加者・学生は別の参加申込書からの申込みとなります。(後日、北海道建築士会ホームページにてご案内します)
- 関係費は、前納制とさせていただきますので、所要事項を記入し、費用を添えて各所属支部へ申し込んでください。
- 申し込みの取り消し及び変更は、8月28日(金)までとし、8月29日(土)以降の取り消しは返金できません。
- 申込用紙は1名につき1枚、同伴者は連名にて料金を加算してください。(申込用紙はコピー可)
- エクスカーションやセミナー等、申込みの定員を超過した場合は先着順とさせていただきますので予めご了承ください。
- 申込用紙は、北海道建築士会ホームページ全道大会ページにてダウンロードできます。

<https://h-ab.com/event/conference/2026sapporo.html>

美幌支部

美幌町の新たな動きと支部の現状

事務局長

種田 一之



ここ数週間はナフサ不足や石油科学系原料の供給不安がかなり報道されております。

シンナーやテープ類、印刷インク用溶剤、建築塗料なども「納期未定」「数量制限」が出てき始めているようです。大手食品メーカーでも、パッケージを白黒にするなどの報道も耳にいたしました。少しでも早く安寧な暮らしが戻ることを切に願っています。

さて、美幌町の新たな動きといたしまして、公営住宅新築工事（RC3階建て、延べ床面積2,831.49㎡）が前年度より着工となっております。公営住宅の老朽化も進んでおりまして、順次対応していく計画のようです。

みどりの村キャンプ場も大規模改修をしております。既存のバンガローをリフォームしたり、新たにトイレと炊事場を新築したり、グランピング施設とサウナ棟も新築しております。

宿泊施設グリーンビレッジも改修工事が始まりました。イベントなどに便利な施設です。

今年度は利用が出来ませんが、来

年度以降是非近くでキャンプなどの機会がありましたら、ご利用ください。

美幌町の総合計画を話し合う『びほろ』みらいまちづくり会議が約1年かけていろいろな分野の講話など聞いたり、他業種の団体とのテーブルディスカッションなどを繰り返して、町の政策基本を話し合う会議に建築士会美幌支部から1名参加しております。

テーブルディスカッションでいろいろな問題をピックアップしていき、その問題の改善案などを出していく中で、空き家問題や商店街の活性化、小学校、中学校の生徒数減少など色々ありますが、その根本が人口減少、少子化、高齢化問題にたどり着きます。この問題は一筋縄ではないですが、地道に対策を続けて

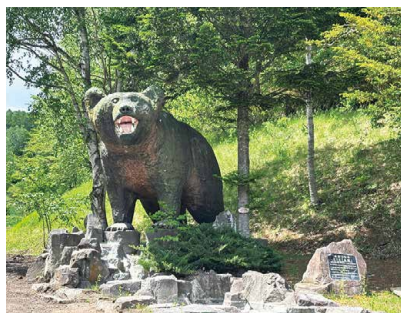
いかなければいけない問題です。

空き家問題についても、最近解体の相談を受けることが多くなってきています。内容を聞いてみると家を継ぐ人がいない、残しておいても負担になるからということで、解体して更地にして処分をしなければならぬとのことでした。

まだ、家として使用できるのに処分しなければいけない状況がとても痛ましいと思います。

美幌支部も会員減少が大きな問題となっております、新規建築士の増員も難しい現状です。

こちらも地道な活動を続けて会員の増強に努めていくしかないと思っていますが、実働人数が限られているため、なかなか思ったような活動がままならない、もどかしい状況が続いております。



みどりの村入口ヒグマの像



ヒグマの説明文

宗谷支部

宗谷支部の活動に参加してみて

青年部

萬尾 陽愛



宗谷支部の萬尾です。入会して1年になりますが、今回は宗谷支部での活動について少しご紹介させていただきます。

宗谷支部では、毎年さまざまな行事を通して会員同士が顔を合わせる機会があります。

7月には北門神社例大祭に参加し、有志の会員で御神輿を担ぎます。私はまだ参加したことがありませんが、実際に参加した会員の話によると9時から16時頃まで市内を練り歩き、最後には神社の80段ある石段を駆け上がるなど体力のいる行事だと聞いています。

この御神輿は最北の短い夏を彩る伝統的な行事で私の小さい頃から行われていました。地域の皆さんにも親しまれており大変ではあると思いますが、これからも受け継いでいって欲しい行事だと感じました。

また、9月には恒例のビール祭りを開催しており、地域の皆さんに建

築士会の活動を知っていただくことを目的にしています。

新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送る年もありましたが、2024年に5年ぶりの開催となり、地元団体である技能士会と合同で実施されました。会場は稚内市の観光名所の一つである「稚内港北防波堤ドーム」です。

この会場は北海道遺産や土木遺産に指定されており、古代ギリシャ・ローマ建築を想わせる景観が印象的な場所です。当日は、技能士会メンバーによるダンスやYOSAKOIソーランチームの演舞が披露されました。また、建築士会・技能士会による抽選会では、抽選番号が読み上げられるたびに会場から歓声が上がっていたそうです。

さらに、昨年9月末には中標津で開催された北海道建築士会全道大会に参加しました。大会当日は式典に先立ち「すぐろく意見交換会」に参加しました。グループに分かれてサイコロを振り、マスに書かれた設問に答えていく形式で実務経験が浅い私には難しく感じる内容もありました。ですが、いろいろな支部の方の

意見や経験を聞くことができ、とても勉強になりました。長距離の移動でしたが普段の業務ではなかなかできない経験や交流ができ、とても有意義な全道大会となりました。

このほかにも、宗谷支部では通常総会や建築基準法に関する講習なども行われており、会員同士の交流だけでなく、学ぶ機会も大切にしていると感じました。来年度には北海道建築士会全道大会が宗谷支部で行われる予定となっており、現在準備を進めています。私は青年部の女性メンバーとして、スタッフジャンパーのデザインを担当しています。女性メンバー同士で意見を出し合いながら、宗谷支部らしさが伝わるデザインを考えています。また、最北の地ならではの景色や魅力を感じていただけの大会となるように取り組んでおりますので皆様のご参加お待ちしております。

この1年間の活動を通して、多くの経験や交流ができました。これらの経験を生かしながら全道大会の準備をはじめ、今後の宗谷支部の活動にも積極的に関わり貢献していきたいと思っています。

道士会の動き

本部の主な会議報告（6月）

◆支部長・支部事務局長会議

（開催日）22日（月）

- 1）（公社）日本建築士会連合会会長表彰推薦者
- 2）（一社）北海道建築士会会長表彰推薦者
- 3）（一社）北海道建築士会第48回全道大会（さっぽろ大会）
- 4）令和8・9年代議員選挙について
- 5）（一社）北海道建築士会支部交付金等運営細則の改正
- 6）会費未納者の対応及び資格喪失会員

CPD認定プログラム（6月認定）

◆建築士の日記念講演会2026

「美しい日本の建築を、北海道から世界へ」

《日程及び会場》7月3日（金） 16：00～17：30

とかちプラザ（帯広市）

《単位数》 2単位

《プログラム問合せ先》

（一社）北海道建築士会十勝支部 TEL 0155-27-1888

◆札幌市木造住宅耐震診断員登録講習会

《日程及び会場》7月1日（水） 9：45～12：00

かでの2.7（札幌市）

《単位数》 2単位

◆札幌市木造住宅耐震設計と耐震改修工事のポイント講習会

《日程及び会場》7月1日（水） 13：30～16：35

かでの2.7（札幌市）

《単位数》 3単位

《上記プログラム問合せ先》

（一社）北海道建築士事務所協会札幌支部 TEL 011-790-8802

◆令和8年道総研建築研究本部研究成果報告会

《日程及び会場》7月9日（木）

第1部 10：00～11：35

第2部 13：05～16：00

（地独）北海道立総合研究機構建築研究本部（旭川市）

《単位数》 2～3単位

《上記プログラム問合せ先》

（地独）北海道立総合研究機構建築研究本部 TEL 0166-66-4218

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！



■視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■7月パスワード：Otr069

本部の主な行事予定（7月）

- 5日（日） 二級建築士学科試験
26日（日） 一級建築士・木造建築士学科試験
28日（火） 中間監査

関係機関等会議出席予定（7月）

- 9日（木） 北海道・東北ブロック会議
11日（土） 青森県建築士会十和田大会
上記 本間会長出席

既存住宅状況調査技術者講習 ・監理技術者講習 オンデマンド講習のご案内

既存住宅状況調査技術者講習・監理技術者講習をより受講しやすくなりました。オンデマンド講習なら、会場へ足を運ぶ必要はありません。インターネット環境のあるパソコンから、講義視聴から修了審査まですべてオンラインで受講できます。従来の対面講習も引き続き実施しております。どちらも詳細は北海道建築士会ホームページをご確認ください。

地域貢献活動センター 地域貢献活動基金の助成対象事業 の募集のご案内

活動センターでは、地域社会の発展に寄与する目的で建築士会会員が参画する地域貢献活動を支援し、その活動費を補助しております。

■対象事業：建築士会員が参画し営利を目的としない地域貢献活動で、以下のいずれかのテーマに沿うもの

1. 歴史的資産の保全・再生・活用
2. 景観の保全・再生
3. 居住空間の保全・整備
4. 自然環境の保全・整備
5. 福祉環境整備
6. 防災活動や防災施設の整備
7. 子どもの住教育やまちづくり教育
8. 建築やまちづくりによる地域活性化
9. その他、活動センターが地域貢献活動と認めるもの

■助成内容：一件の限度額 20万円（予算の範囲内で審査委員会が決定した額）

■募集期間：令和8年1月5日から9月30日
※事業実施の2ヶ月前迄

詳細は、北海道建築士会ホームページまたは地域貢献活動センター事務局（北海道建築士会内 TEL 011-251-6076）までお問い合わせください。

編集後記

今月号の5ページにおきまして、全道大会（さっぽろ大会）のご案内を掲載させていただきました。これまでの日高大会、中標津大会における全員参加型のワークショップ形式とは異なり、今回の札幌大会では個人の興味に合わせて選べる魅力的なプログラムや、翌日のエクスカースションなど、多彩な企画が用意されております。

会期中は、時間の制約からひとつのプログラムにしか参加できないため、情報委員会にて各プログラムの取材を敢行いたします。取材内容は、懇親会の中でスライド形式にて皆様へ共有させていただく予定です。それでは、全道大会の会場で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

情報委員会 前田 繁

情報委員会委員長／前田 繁
副委員長／村山 賢司・立花智亜喜
委員／奈良岡 修・山川 力
津山 浩・板川 正人

北海道建築士 No.347号

発行 令和8年7月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル

電話 (011) 251-6076 番

URL <https://www.h-ab.com/>